

令和7年度 第5回 「知事と語る やまなしづくり」結果概要

対話テーマ：“私らしく働く”を叶える、デジタルという選択 ～女性の多様な働き方の実現に向けて～

県では、本県が目指すべき姿「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の実現に向けて、知事が直接、幅広い層の県民と意見交換をすることで、県民が抱えている課題を把握し、その解決や新たな施策の立案等に生かしていきたいと考えています。
今回は、やまなし女性デジタル人材プロジェクトの受講者の皆様と講座の成果や課題などについて意見交換を行いました。

【日時場所】 令和7年11月5日（水） 午後3時30分から 県庁防災新館4階401・402会議室

【対話相手】 5名

（主な意見等）

- 講座は基礎から応用まで体系的に設計されていて、特に、学習順序が整理されていて、進めるうちに理解が深まるよう工夫されていた点が良かった。
- オンデマンド視聴やチャットで質問できる環境が整っていて、家庭や仕事と両立しながら学べる柔軟な仕組みがとても助かった。いつでも質問でき、動画のアーカイブで復習できる点は非常に便利だった。
- 平日勤務ではライブ講義に参加できないことが多いので、週末開催の講座があるのもっと受講しやすくなると思う。毎回でなくても構わないので、土曜や日曜に数回でもライブ講義があれば、学びやすい環境になると感じた。
- 講座終盤や終了後に企業案件を体験できる実務研修があると、スキル定着や自信につながり、就業への不安も減ると思う。講座で学んだ知識だけでは実務に自信を持てないため、実際のクライアントワークを体験できる仕組みがあると、実績にもなる。
- 県内企業との連携や、受講生のスキルを見える化する仕組みが必要だと思う。企業側のニーズを知る機会があれば、学習へのモチベーションが高まる。企業と受講生のマッチングを支援する仕組みをぜひ検討してほしい。
- 課題提出や個別フィードバックの機会をもっと増やしてほしい。任意で構わないので、提出の機会が多いとレベルアップにつながるし、講師からのフィードバックがあると実践的な学びになる。

（知事（県）の主な発言）

- 実践的なスキルを身につけていただくため、実績が積める機会を創出することや、企業とのマッチングに向け、企業ニーズの提供や受講者のスキルの見える化（スキルをPRする場）を検討する。
- ODXを学んだ学生と商工会がペアとなって企業のDX支援を進めているが、学生同様に本講座の受講者も活用できると考えている。商工会と受講生をつなぐことを検討する。

